

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) パンデミック下における 保健所職員への精神的影響

COVID-19パンデミック下で、医師や看護師といったCOVID-19患者に直接対応する医療従事者の過重労働、燃え尽き（バーンアウト）やうつといった精神的ストレスが注目されるようになりました。しかし、COVID-19対応に奮闘しているのは病院職員のみではありません。保健所職員といった行政職員の過重労働やストレスの実態についてはほとんど研究がされてきませんでした。

今回我々は、岡山県下の保健所職員100名を対象として2021年12月にアンケート調査を実施し、**約4人に1人（27%）がバーンアウト、約半数が抑うつ（43%）及び職業関連ストレス状態（63%）**にあることを明らかにしました。特に、**女性、保健師、職場からの支援が足りないと感じている職員**においてその傾向は顕著でした。

COVID-19パンデミックが長期化する中、今回の研究結果は最前線の医療従事者に加えて行政職員に対してもメンタルヘルスカを提供し、これ以上の過重労働を軽減する必要性を示唆する重要なデータと考えています。